

令和2年産水稻の出穂状況について（8月6日現在）

1 出穂状況等（概況及び今後の管理）

- 8月6日現在、38,588ha(県作付見込面積の60.4%)で出穂が確認されている。県全体では8月5日に^{しゅつすい}出穂期(県作付見込面積の50%で出穂)に達した。
- 出穂期は水を必要とする時期なので、田面の水を切らさないように、また、高温時に長期間湛水状態にすると根腐れを起こすので^{ほうすい}飽水管理とするよう指導している。
- 葉いもちの発生が確認されている。上位葉での発病は、穂いもちの主要な伝染源となるため、ほ場を入念に見回り、葉いもちの発生が確認された場合は直ちに茎葉散布剤による防除を実施するよう注意喚起している。
- ^{ほんてんまい}斑点米カメムシ類の防除は、出穂状況を確認して防除時期が遅れないよう注意し、^{ほぞろいき}「穂揃期」と「その7～10日後」の2回防除を基本として実施するよう指導している。

2 具体的データ

(1) 地方振興事務所・地域事務所別及び地帯区分別出穂状況

①地方振興事務所・地域事務所別

地区名	水稻作付見込面積 (ha)	8月6日現在出穂状況			進行月日			(参考)令和元年度		
		出穂面積 (ha)	進行率 (%)	出穂始期	出穂期	穂揃期	出穂始期	出穂期	穂揃期	
大河原	6,634	3,569	53.8	7/30	8/6	—	7/30	8/1	8/9	
仙台	12,083	6,510	53.9	8/2	8/5	—	7/30	8/2	8/7	
大崎	18,170	12,248	67.4	8/2	8/5	—	7/30	8/2	8/7	
栗原	8,926	4,487	50.3	8/1	8/6	—	7/31	8/2	8/7	
登米	9,742	6,700	68.8	8/1	8/5	—	7/30	8/1	8/5	
石巻	7,465	4,801	64.3	8/1	8/5	—	8/1	8/3	8/7	
気仙沼	904	273	30.2	8/4	—	—	8/2	8/5	8/9	
県計	63,924	38,588	60.4	8/2	8/5	—	7/30	8/2	8/7	

②地帯区分別

地帯区分	水稻作付見込面積 (ha)	8月6日現在出穂状況	
		出穂面積 (ha)	進行率 (%)
山間高冷	939	137	14.6
西部丘陵	5,251	2,415	46.0
北部平坦	42,175	28,438	67.4
南部平坦	5,438	3,324	61.1
三陸沿岸	1,559	577	37.0
仙台湾沿岸	8,562	3,697	43.2
県計	63,924	38,588	60.4

※出穂始期、出穂期、穂揃期は、それぞれ水稻作付見込面積の5%、50%、95%以上が出穂した日である。
※令和2年作付見込面積は、みやぎ米推進課でとりまとめた主食用米の作付見込面積(4/10現在)を用いた。

(2) 出穂時期の比較

区分	出穂始期(5%)	出穂期(50%)	穂揃期(95%)
本年	8月2日	8月5日	—
前年	7月30日	8月2日	8月7日
平年	7月30日	8月2日	8月9日
平年差	+3日	+3日	—

※過去10ヶ年（平成22～令和元年）のうち、最も早い年と遅い年を除いた8ヶ年の平均値。

※次回は、8月11日現在の出穂状況を8月12日に記者発表予定です。